

水道水源における暫定目標値を上回るPFOS及びPFOAの検出について

観音寺市^{しげき}茂木浄水場の常用水源の一つである茂木第2水源（観音寺市茂木町）において、暫定目標値（※）を上回る^{ピーフォス}PFOS及び^{ピーフォア}PFOAが検出されました。（現時点で原因は不明）

なお、茂木浄水場から送水した水道水のPFOS及びPFOAについては、7月23日に実施した水質検査では、暫定目標値未満の24ng/Lとなっています。

暫定目標値を上回る検出を受け、企業団では、当該水源からの取水を7月25日に停止し、現在、西部浄水場（香川用水）からの給水で切替しています。

（※）水道水での暫定目標値 50ng/L（1リットル当たり50ナノグラム）

【検査結果】

水源名称(種別)	採水日	検出日	結果
茂木第2水源（浅層地下水） 観音寺市茂木浄水場常用水源	4月22日	4月30日	19ng/L
	7月16日	7月22日	59ng/L
	7月23日	7月25日	71ng/L
	7月25日	7月27日	74ng/L

※検査結果には誤差が含まれることから、複数回、検査を行っています。

7月3回目の検査では、同時に民間検査機関での検査も実施しており、その検査結果でも暫定目標値を上回りました。（民間検査機関の検査結果 60ng/L）

<参考>

PFOS及びPFOAについては、令和2年度に、水道法で定める水質管理目標設定項目（水道水の安全性の確保等に万全を期す見地から、検査を実施することが求められる項目）に位置付けられ、水道水1リットルあたり50ナノグラム以下とする暫定目標値が設けられました。

企業団では、令和4年度から年4回、水道管末端の給水栓（81地点）における検査を実施しています。

また、今年度からは、各浄水場に流れ込む原水（135地点）、浄水場の浄水（55地点）についても、年4回、検査を実施することとしています。

検査結果については、企業団ホームページで公表しており、これまでのところ、暫定目標値を上回った地点はありませんでした。

茂木第2水源の位置図



【国土地理院地図を加工して作成】